

総務

一般会計予算

選挙費について

〔質問〕 ミスを再発しないための対策は。

〔答弁〕 前回の市議選では得票数の入力時にミスが生じた。その対策としてバーコードを利用した集計システムを導入する。投票用紙関係では持ち帰り防止のため、投票函と立会人の距離を三メートルとするなど投票場の

文教福祉

一般会計補正予算中、検診委託料について

〔質問〕 旧町村部で基本健診や各種検診の受診率が下がっているが、対策は。

〔答弁〕 三十分刻みで時間が指定できる電話予約制をとっている点や、市内どこでも受診できる点などをもっと広報していきたい。

準備要領も見直した。また、先進地の視察も実施してマニュアルをすべて見直したので、選挙事務従事職員に

対し、その周知徹底を図る。

〔質問〕 今回の裁判の判決を見ると、疑問票に対する判断がまちまちだったようだ。機械力に頼るばかりでなく、判断を間違えないようにすべきではないか。

〔答弁〕 有効無効を判断する、候補者ごとのマニュアルを作成し対応する。

常任委員会

一般会計予算中、緊急通報システム整備について

〔説明〕 独居高齢者等に対する緊急通報システムについて、新消防方式を採用する。これは三件まで電話番号を登録でき、近隣の協力者や親族、消防局等に通報する仕組みである。十九年度に旧佐賀市、二十年度に旧町村を整備したい。

〔質問〕 旧町村で採用されている警備会社方式には相

旧諸富町塵芥焼却場解体事業について

〔質問〕 解体の際に有害物質の飛散等が考えられ、工事期間も七月から十月の計画で、定期的に風水害等が心配だ。周辺住民への説明はどう考えているのか。

〔答弁〕 施設内には汚染物質が含まれていると判断しており、有害物質の飛散や土壌の汚染問題等地域住民の方も心配されると思う。そこで事前に周辺住民の方

に解体する旨を伝え、ご意見を伺いながら住民説明会を開催していく。また、清掃センターで焼却炉を解体した経験をいかしながら安全対策を検討していく。



旧諸富町塵芥焼却場

市民活動保険経費について

〔質問〕 この保険では活動

場所への往復途中での事故は保険対象にならないのか。

〔答弁〕 自治会活動保険とは違い、この市民活動保険では、市民活動中の事故は当然対象になるが、往復途中の事故については市民活動との関連性の証明が困難であると考え、保険の対象外としている。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

談機能もあるが、新消防方式に統一することで失われしてしまう。代替策は。

〔答弁〕 愛の一声運動や高齢者ふれあいサロンなど、現行の様々な福祉サービス事業を組み合わせ、サービスが低下しないよう十分注意し統一的に対応したい。

佐賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

〔説明〕 地方税法の改正に

伴い、介護分の上限額を八万円から九万円に改める。

〔質問〕 松本市、石巻市の

ように、ひとり親家庭や乳幼児がいる世帯には、滞納があっても国保証を交付するべきではないか。国保税の減免措置の範囲を広げる検討は行わないのか。

〔答弁〕 今回の当初予算でも基金を取り崩す予定で、二十年度には国保税値上げの可能性もある。現在の財

合併問題 特別委員会

一般会計予算中、合併関連費約三億九千万円について

〔説明〕 この予算は、例規整備等の合併関連経費として約二千五百万円、電算システムの統合経費として約二億八千万円、合併協議会運営経費として約三百三十万円などである。

第八十五号議案 財産の取得について

〔説明〕 南部三町との合併に伴い、佐賀市で現在使用している基幹行政システムと行政支援システムを、川副町、東与賀町及び久保田町にも配置し、整備する必要がある。約三百台のパソコンと約四十台のプリンタの購入を行うものである。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

経済企業

一般会計補正予算中、企業立地支援事業について

〔質問〕 今回の補助対象企業は、新規雇用者五名以上の補助要件を満たすのか。

また、規則・要綱の「新規雇用者」と条例における「新規地元雇用者」の表現がいまいでわかりにくいのが、市内居住者が一名では要件に該当しないのでは。

〔答弁〕 三月以降、順次雇用していく計画のため、要綱における新規雇用者五名

以上という要件は満たすと考えている。条例・規則・要綱については、必要があれば整備をしていく。

〔付帯事項〕 補助金の要件整備を行うこと、また条例・規則・要綱の整合性を図ること。

一般会計予算中、銀天夜市補助金について

〔質問〕 今年はエスプラッツが再開するが、周りの商店街と連携し、周りがエスプラッツを盛り上げていく雰囲気づくりが必要では。

〔答弁〕 商店街との連携が

建設環境

一般会計予算

道路維持費について

〔説明〕 橋梁の危険度調査を行い、危険度大の百六十カ所を十八年度から十九年度までの二カ年度約二十万円で優先的に対策を講じる。

〔質問〕 他事業に影響が出ないか。人命に関わるので別に予算計上してはどうか。

常任委員会

一番重要なポイントとされている。八月にオープンするのは銀天夜市とタイアップができないかと考えたからである。また、エスプラッツにもテナント会などを組織してもらい商店街のイベントや各種事業に参画してもらいたいと考えている。

自動車運送事業（市営バス）会計予算について

〔質問〕 当初予算で既に約四千九百万円の損失だが、

具体的な解消策はあるのか。

〔答弁〕 ゆめタウン線で二

は市職員で対応できないか。

〔答弁〕 運搬業務には電気技師等さまざまな免許が必要で、コスト面を考えると委託したほうが安価である。

〔意見〕 こういった事故は子どもが多い。大人と子どもの目線は違う。配慮した対策を行っていただきたい。

焼却炉運転委託料について

〔質問〕 焼却炉の運転業務

〔質問〕 下水道供用開始地区内の接続率をアップするような対策は。

〔質問〕 下水道供用開始地区内の接続率をアップするような対策は。

同様の内容で陳情が行われており、請願になじまないと思う。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。受理番号一の請願書は採択すべきものと決定。



佐賀市内産木材を利用した木工品

〔質問〕 汚泥減量化試験の市の担当職員と薬品納入業者の代表者は同じNPO法人の理事であることから癒着があるのではと疑念を持つが見解はどうか。

〔答弁〕 疑念を持たれるのは残念だが、市の顧問弁護士から法的には問題がないとの回答があり、県内での薬品を取り扱っているのはその業者だけであるので問題はないと考えている。

〔審査結果〕 第五号議案公

共下水道特別会計中、汚泥減量化試験委託料二百六十万円を予備費に組み替える修正案が出されたが否決。その後、すべての議案について原案を可決すべきものと決定。